

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」 世界文化遺産の推薦候補に決定！

国の文化審議会は7月10日、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を、平成28（2016）年に登録を旨とする世界文化遺産の推薦候補にすることを決定しました。熊本県から推薦候補決定の電話連絡を受けた中村市長は、「ありがとうございました。心よりうれしく思います」とあいさつ。その後、市役所本庁舎に決定をPRする垂れ幕が掲げられ、集まった市職員から拍手が送られていました。

今後は、9月に開かれる予定の政府の関係省庁連絡会議で、正式に決定する見通しです。

▶おおよぜいの報道陣が詰めかける中、県からの電話連絡を受ける中村市長



▲市役所本庁舎に掲げられた垂れ幕

世界遺産登録トピックス

崎津地区で海岸清掃を実施！



▲清掃活動のようす

推薦候補決定から3日後の7月13日、富津地区振興会の役員や地元住民、市職員など100人が参加して、崎津地区内の海岸清掃が行われました。

住民や来訪者が気持ち良く過ごせる環境づくりを目的に初めて実施したものです。この日はあいにくの雨となりましたが、参加者は海岸にたまった流木や空き缶などの漂着物を撤去。同地区振興会の増田哲也会長は、「世界遺産の登録を見据えて、今後も定期的の実施したい」と話していました。

【問い合わせ先】本庁・世界遺産推進室（河浦支所内）☎761116

副市長に金子邦彦氏 教育長に石井二三男氏が就任しました

（7月1日付け）



大好きな天草に
していきたい

教育長
石井二三男氏
（河浦町河浦・66歳）

27年ぶりに天草にて勤務することになりました。皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

10年ほど前からでしょうか、実家に帰る途中の河浦町・立原地区に、気になる好きな看板があります。それには、「天草は今も元気ですか。私は父や母が若かったころのあの飾ることのない天草が大好きです。天草は今も元気ですか」とあります。自問自答しながらの運転。「天草」という響き、心地良さは変わらないものです。しかし、子どもたちを取り巻く社会の環境は大きく変わってきたと感じています。地域の隅々にまで響いていた子どもたちの声の減少。それを補ってくれるはずの急速な情報化の進展。なのに、携帯メール、ライン等々、大きな問題が影を落としています。学校は生命をはぐくみ栄養を与えていくところだと思います。どうか地域をあげての温かい見守りをいただき、「飾ることのない」大好きな天草にしていきたいと思います。

◆主な経歴

旧河浦町出身。昭和45年から旧本渡市立本渡南小学校教諭として着任以来、同63年3月まで天草地域の小・中学校に勤務。その後、県教育庁勤務をへて、旧植木町立田原小学校長、玉名教育事務所長、県教育庁義務教育課長、同教育次長など歴任。



職員一丸となり
市の発展に尽力

副市長
金子邦彦氏
（小松原町・60歳）

6月20日の市議会定例会において、副市長選任に対する御同意をいただき、7月1日付けをもって副市長に就任いたしました。

中村市政が目ざす「市民目線の行財政改革」「強力な経済対策」「きめ細やかな生活支援」の3つの基本姿勢を現実のものとしていくためには、新しい課題に職員一人ひとりがチャレンジ精神をもって市政の執行に当たることが重要であると考えております。

私は、これまで経験した仕事や仕事を離れた時間を通じて、市民の皆さんに育てられ、職員に支えられてきたことに感謝しているところです。そうした今の私の根幹となるものを大切にしながら、副市長という新しい視点に立って、誠心誠意努める所存です。

私一個人は微力ではありますが、職員一丸となり本市の発展に尽力してまいりますので、市民の皆様には、これまで以上に御指導・御鞭撻を賜りますようお願いし、就任のあいさつとします。

◆主な経歴

旧本渡市出身。昭和49年5月に旧本渡市職員となり、企画部合併推進室長、同部首席審議員、天草合併協議会の事務局長を歴任。平成18年3月の天草市発足から企画部長、総務部長を歴任。同26年6月退職。